

12月

眠る植物たち

❖冬、園内は静寂に包まれます。落葉樹たちが、新しい春の息吹をこめた冬芽を大切に抱いて眠っているからです。



ミスナラ



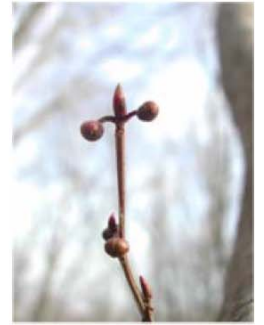
トチノキ



シデコブシ



ムラサキシキブ



アブラチャン



ミツマタ



ヤマハンノキ



クロウメモドキ



カラマツ



コクサギ



オニグルミ



バイカウツギ

❖冬芽は樹種ごとに色んな特徴があり、葉が付いていた後の葉痕（ようこん）には動物の顔に見えるものもあります。

❖秋にあった実のほとんどがなくなりますが、イイギリやツルウメモドキなどの実が鳥の貴重な食料として残っています。



シナヒイラギ

❖クリスマスの飾りなどに使われる真っ赤な実が、外国産区画や駐車場で見られます。



イイギリ



ツルウメモドキ



ナンテン



ヤツテ



グランサムツバキ

❖この寒い時期でも、ヤツテの玉のような花や、グランサムツバキの直径10cmを超える大輪の花が見られます。

❖初冬の頃、シソ科のシモバシラなどは枯れていても水を吸い上げ、それが茎から染み出して「霜柱」が作られることがあります。

